



H25. 4. 5. No1310
 静岡県漁業協同組合連合会
 ☎054-254-6011 Fax054-253-9343
 編集・発行＝指導部漁業振興課
 URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

4. 第43期生10人が卒業

県立漁業高等学園

県立漁業高等学園では、3月15日平成24年度(第43期生)卒業式が執り行われ、本県漁業の次代を担う10名が巣立ちました。式典では、本年度設けられた表彰制度により、職業教育機関で学ぶ生徒に対し他の模範となる生徒を表彰する知事表彰を颯田耀平さんが受賞し、中村友則さんが園長表彰を受賞しました。また、学園後援会長の本会荒川会長及び中野焼津市長が来賓祝辞、望月経済産業部就業支援局長が知事祝辞として、それぞれ卒業生に対し「後継者として活躍を期待する」等の言葉を贈られました。これに対し、卒業生答辞として代表の颯田耀平さんが「期待に応える漁業後継者になりたい」と決意を述べました。

なお、卒業生10名は、次のとおり漁業関係に就職することが決定しています。
 ▽遠洋まぐろはえ縄2名 ▽遠洋かつお一本釣り2名 ▽さば棒受網2名 ▽大中型まき網1名 ▽小型まき網1名 ▽きんめ立縄1名 ▽しらす船曳網1名

5. 平成24年漁業就業者動向調査結果

—60歳以上が51.5%—

農林水産省は、平成24年漁業就業者動向調査(平成24年11月1日現在)を公表しました。調査結果(岩手・宮城・福島県を除く)では、漁業就業者数が17万3,660人(うち太平洋中区は2万7,680人)となり、前年に比べ4,210人(2.4%)減少しました。これは、漁業就業者の高齢化等により、廃業や規模縮小等があったためとされています。男女別にみると、男性は14万9,260人(漁業就業者数に占める割合85.9%)、女性は2万4,400人(同14.1%)で、それぞれ前年に比べ3,400人(2.2%)、810人(3.2%)減少しています。また、年齢階層別の割合については、60歳以上の割合が前年に比べ0.9ポイント増加し、全体の51.5%となりました。なお、詳細データ等は下記農林水産省ホームページでご覧いただけます。
http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/gyogyou_doukou/index.html

6. 「漁業と震災」(濱田武士氏 著)のご紹介

—図書案内—

みずず書房より出版された「漁業と震災」(濱田武士氏 著)は、東日本大震災の被害状況や経過、復興の歩みをはじめ食糧基地構想、水産特区など行政が打ち出した改革論の問題点をわかりやすく論じており、日本で最も協同組合らしい組織といわれるJF並びに漁業者、現場の立場に立った関係者必読の一冊です。現在、全漁連の斡旋により特別価格2,800円(税・送料込)にて購入することができますので、本会漁業振興課まで問い合わせください。

7. 本会 人事異動のお知らせ

本会では、次のとおり職員の人事異動を発令しました。(カッコ内は旧役職)
 ◇異動 4月1日付 ▽沼津事業所長 前田 努(指導部付・伊豆漁協出向) ▽焼津事業所長 藤澤俊也(焼津事業所長心得) ▽販売部販売課長 牛島秀和(販売部販売課長心得) ▽総務部付 平尾敬義(総務部総務課主任) ▽総務部経理課 鈴木康高(静岡事業所)
 ◇新規採用 4月1日付 ▽指導部長<嘱託> 鈴木雄策 ▽静岡事業所 関森裕太郎
 ◇退職 3月31日付 ▽西野朝善(沼津事業所長) ▽村松高明(指導部参与兼指導部長<嘱託>) ▽岩科光春(沼津港湾事務所<嘱託>)

1. 水産新ビジネスチャレンジ支援事業等 成果発表会を開催

3月14日静岡市内において、県及び県信漁連・本会により、漁業の6次産業化など収益性のある新ビジネスの立ち上げを支援する水産新ビジネスチャレンジ支援事業並びに中核的な役割を担う漁協の中堅職員を対象とした水産関係マネジメント人材育成研修事業における成果発表会が開催されました。

◇水産新ビジネスチャレンジ支援事業の発表課題と発表者

いとう漁業協同組合 「『新鮮すり身』のチャレンジ ～伊東地域の漁業再生の一手段として～」発表者 参事 菊地隆雄 氏、 由比港漁業協同組合「サクラエビに頼らない組合経営へ ～由比地域の活性化のために～」発表者 販売課 宇佐美秀明 氏

◇水産関係マネジメント人材育成研修の発表課題と発表者

(第1グループ)「磯根漁業体験(すもぐり体験)」発表者 いとう漁協 岡 伸二 氏(第2グループ)「静浦漁港の親海拠点化計画」発表者 静浦漁協 永久保英敏 氏(第3グループ)「浜の駅事業(用宗漁港をモデルにした場合)」発表者 清水漁協用宗支所 小林伸彰 氏(第4グループ)「御前崎をいただきます～御前崎の真夏の海を満喫しよう～」発表者 南駿河湾漁協御前崎本所 松本匡広 氏

2. 県下沿海地区漁協 組合長のお知らせ

3月に総(代)会を開催した沿海地区漁協のうち、任期満了等による役員改選を行った漁協の代表理事組合長が次のとおり決まりましたので、お知らせ致します。

漁協名	代表理事組合長	漁協名	代表理事組合長
いとう	高田 充朗(再)	焼津	西川角次郎(再)
田子の浦	外山 廣文(再)	小川	橋ヶ谷善生(再)
由比港	宮原 淳一(再)	大井川港	谷澤 輝雄(再)

()内は、新任・再任の別

3. 2013年度 漁協運動功労者 谷澤輝雄氏(大井川港漁協長)が受賞

JF全漁連では、3月6日開催の2012年度第7回理事会で、全国のJF漁連・JF県信漁連等が推薦した合計34人を2013年度(第28回)の漁協運動功労者として決定しました。

本県からは、先に県信漁連及び本会から推薦した谷澤輝雄氏(大井川港漁協長、JF静岡漁連副会長、JF静岡信漁連理事)が、多年に亘り桜えび漁業に携わり、資源管理型漁業の推進と確立に努め地域漁業の振興発展に寄与、また、地元漁協長の要職を務める一方、系統団体の役員を歴任し、系統組織の基盤強化に尽力、更には平成16年静岡海区調整委員に当選、20年から同委員長を務め、大所高所より漁業秩序の維持に尽力している功績が認められ、今回の受賞が決定しましたのでお知らせ致します。ここに受賞を心からお喜び申し上げます。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう